

# 理容東金

千葉県理容生活衛生同業組合  
東金支部  
発行者 増田 稔  
編集者 土屋 明男  
77-2804

## 2024 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

令和6年、辰年という新たな年を迎えました。常日頃、組合員の皆様には、組合活動にご協力を頂いておりますことに感謝を申し上げます。

この度の正月元旦に起きました、能登半島地震で被災された方々に、衷心より哀悼の意とお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を願うところでございます。

5類に引き下げられた新型コロナウイルス感染症は、今はポストコロナとし、コロナ前の日常生活に戻る方向にあります。私ども生活衛生業界は、

引き続きの感染防止対策が求められております。

近年AIの発展波及はめざましく、業種によっては20年後30年後には「AIにより代替可能性が高い100種の職業と、生き残る職業」、という説を5・6年位前にお話した覚えがあります。そこには、私達はヘア産業としてしっかりと生き残っております。ロボットには出来ない、私達が持つ「感性」が守ってくれています。このように息の長い職業であるというのに、今は後継者不足、組合離れ、等で悩んでおります。この仕事は労働に対して利益率が悪い、生産性が

悪いという事でしょうか、これからは儲かる業にしていかなくはなりません。諸物価高騰の中で価格転嫁がしにくい時ですが、私達も同様に経営に影響を受けている訳で、今、決断する時と思えます。

組合組織であれば難関を乗り越える事が出来る、良い例がコロナの緊急事態宣言発令当時小池東京都知事に、私達の業種は「お客と蜜に接する職業ゆえに営業自粛の部類に値する」と、言われ大変な騒ぎとなった、「理事長どうするんですか、何とかしてくださいよ」と、何本も電話がありました。それを全理連が先頭に立って、全国の組合員の思いを込めて阻止したことは、組合の力を発揮した大きな出来事でした。（組織の力、1部紹介）  
コロナ禍で、人との交流が少ない時期でした。疎遠になった仲間にも自分

から声掛けする事で、共通の話題を持つ、何よりも生活や目的を共有できる同士です。会話、おしゃべりは良好な人間関係を築き、生きがいや楽しさへ続き、人との繋がりが生まれるに違いないはず

です。大切なことです。普段意識していませんが、大きな目で見て、組合はやはり自分たちを守ってくれているのだと痛感致します。

今年度も、役員一同組合運営に努めてまいります。皆様のご意見ご指導ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。新年の挨拶といたします。

### 理容フェスティバル

第38回理容フェスティバル、第35回理容師文化展が東金支部担当で令和5年11月14日東金文化会館大ホールで開催しました。コロナ禍の影響で久々の開催で支部役員一

同緊張の趣で臨みました。理容フェスティバルは組合のビックイベントのひとつで、組合員の意思疎通、連帯感を強めるために有意義な事だと思います。実際平成9年にサンライズ九十九里で行った時には、絆みたいなものを感じたのも事実でした。会場も多くの人で賑わい、他の支部の方々とも共有できたという感じが記憶にあります。今後は時代のニーズに合ったフェスティバルが期待されると思います。支部員の皆様ご理解ご協力有難う御座いました。※詳細はとうがねかわら版をご覧ください

